

第55回横浜市都市美対策審議会景観審査部会 次 第

日 時 令和元年11月26日（火）午前9時45分から正午まで
会 場 横浜市開港記念会館2階6号室（横浜市中区本町1丁目6番地）

次 第

1 開 会

2 議 事

- (1) 「まちを楽しむ多彩な交通」における景観形成について（審議・報告）
- (2) 広告付案内サイン・公衆無線LAN整備事業における景観形成について（報告）
- (3) その他

3 閉 会

<資 料>

次第、参加者名簿、座席表、第54回議事録

【議事1】資料1 これまでの審議状況

資料2 前回の審議会を踏まえた事業者との調整事項

資料3 （仮称）横浜ロープウェイプロジェクト《YOKOHAMA AIR CABIN》
～報告事項～

資料4 （仮称）横浜ロープウェイプロジェクト《YOKOHAMA AIR CABIN》
～「屋外広告物」「夜間景観」について～

資料5 事業者提案に対する市の考え方

【議事2】資料1 広告付案内サイン・公衆無線LAN整備事業における整備位置について

第55回横浜市都市美対策審議会景観審査部会 参加者名簿

開催日時 令和元年11月26日（火）午前9時45分から正午まで
 開催場所 横浜市開港記念会館2階6号室

	氏名（敬称略）	現職等	
部会長	国吉 直行	横浜市立大学客員教授（都市デザイン）	
委員	加茂 紀和子	名古屋工業大学工学部社会工学科教授（建築）	欠席
〃	小林 徹	公募市民委員	
〃	野原 卓	横浜国立大学大学院都市イノベーション研究院准教授（都市計画）	欠席
〃	福岡 孝則	東京農業大学地域環境科学部造園科学科准教授 （ランドスケープデザイン）	
〃	矢澤 夏子	神奈川県弁護士会 弁護士	
〃	山家 京子	神奈川大学工学部建築学科教授（都市計画）	

【議事1】

関係局	松井 恵太	都市整備局企画部企画課長
〃	原田 博志	都市整備局企画部企画課担当係長

【議事2】

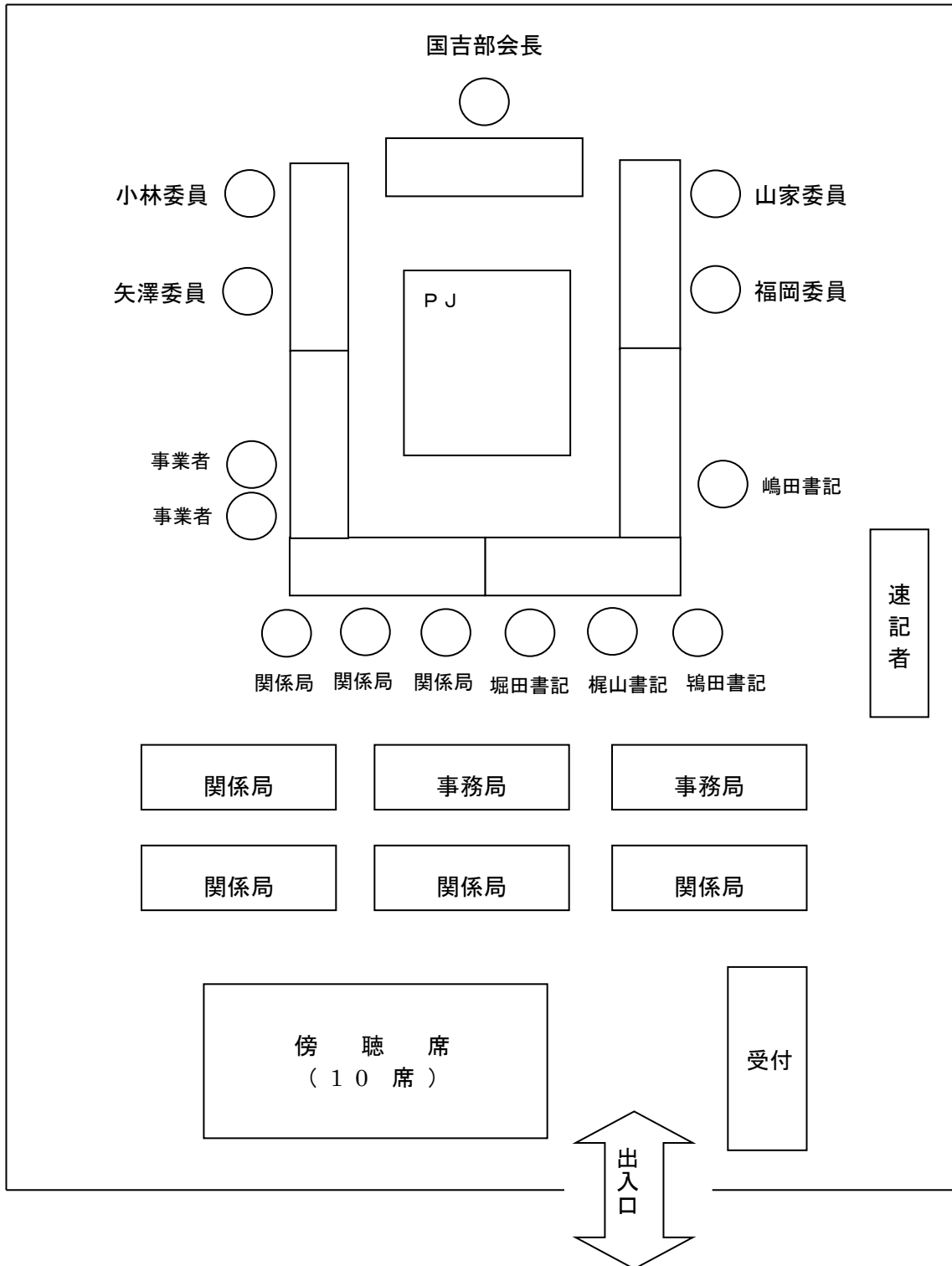
関係局	光田 麻乃	都市整備局企画部企画課担当課長
〃	松中 涉	都市整備局企画部企画課担当係長

書記	堀田 和宏	都市整備局企画部長
〃	嶋田 稔	都市整備局地域まちづくり部長
〃	梶山 祐実	都市整備局企画部都市デザイン室長
〃	鴫田 傑	都市整備局地域まちづくり部景観調整課長

【第 55 回横浜市都市美対策審議会景観審査部会座席表】

日時：令和元年 11 月 26 日（火）午前 9 時 45 分から正午まで

会場：横浜市開港記念会館 2 階 6 号室



第54回横浜市都市美対策審議会景観審査部会会議録	
議 題	<p>審議事項</p> <p>議事 1 特定都市景観形成行為に関する協議事項及び協議の方針に関する意見について (関内地区都市景観協議地区中区日本大通5番2号) (審議)</p> <p>議事 2 特定都市景観形成行為に関する協議事項及び協議の方針に関する意見について (みなとみらい21中央地区都市景観協議地区西区みなとみらい5丁目1番地) (審議)</p> <p>議事 3 連節バスを活用した「高度化バスシステム」について (審議)</p> <p>議事 4 その他</p>
日 時	令和元年10月1日(火) 午前10時から午後0時20分まで
開催場所	横浜市開港記念会館2階9号室
出席委員	国吉直行、加茂紀和子(議事2途中より退席)、小林 徹、野原 卓、福岡孝則、山家京子
欠席委員	矢澤夏子
出席した書記	堀田和宏(都市整備局企画部長) 嶋田 稔(都市整備局地域まちづくり部長) 梶山祐実(都市整備局企画部都市デザイン室長) 鵜田 傑(都市整備局地域まちづくり部景観調整課長)
関係者	<p>【議事1】</p> <p>関係局：菊地健次(都市整備局都心再生部長) 足立哲郎(都市整備局都心再生部都心再生課長) 島田浩和(都市整備局都心再生部都心再生課担当係長)</p> <p>事業者：N T T都市開発株式会社 設計者：大成建設株式会社</p> <p>【議事2】</p> <p>関係局：菊地健次(都市整備局都心再生部長) 遠藤拓也(都市整備局都心再生部みなとみらい21推進課長) 土師朝子(都市整備局都心再生部みなとみらい21推進課担当係長)</p> <p>事業者：株式会社大林組(代表企業)</p> <p>【議事3】</p> <p>関係局：小島健治(交通局自動車本部路線計画課長) 森下周一郎(交通局自動車本部路線計画課担当係長)</p>
開催形態	公開(傍聴者：なし)
決定事項	<p>【議事1】</p> <p>申出者の考え方に対する市の協議方針及び協議事項については概ね了承する。大さん橋通り側のファサード、7階テラスの見え方については、本日出た意見をふまえて引き続き協議の中で検討すること。</p> <p>【議事2】</p> <p>現段階での申出者の考え方に対する市の協議方針及び協議事項については概ね了承するが、ディテールやグランモール軸における視線の抜け方等については、本日出た意見をふまえて引き続き協議の中で検討し、今後更に検討が必要な事項と合わせて再度付議すること。</p> <p>【議事3】</p> <p>みなとみらい21新港地区内に設置する広告付バス停上屋に関しては、景観計画における屋外広告物の設置等に関する行為の制限のただし書き適用について認めるが、夜間の見え方、海への眺望に対する影響、及びバス停上屋のデザインについては引き続き検討し、今後報告すること。</p>
議 事	<p>議事 1 特定都市景観形成行為に関する協議事項及び協議の方針に関する意見について (関内地区都市景観協議地区中区日本大通5番2号) (審議)</p> <p>資料を用いて、事務局、関係局及び設計者から説明を行った。</p> <p>(国吉部会長)</p> <p>ありがとうございました。このプロジェクトは何回も景観審査部会にかけていただきまして、事業者の方、設計者の方もご苦労が多かったと思います。前回のご意見等を踏まえて、高層部の圧迫感を</p>

より軽減してほしいということでその辺のデザイン検討をいただきました。相当変わった案になってまいりましたが、全体に高層部については少し抑え気味にされたのではないかと思います。それでは、各委員の方から、これまでの経緯も踏まえて評価等ご意見をいただければと思います。よろしくお願いたします。

(野原委員)

今、部会長からもありましたが、この案件は結構長く審議している案件で、今回は景観審査部会のメンバーがかなり変わっており、当初から継続しておられるのはこちらの3人(国吉部会長、加茂委員、野原委員)です。かつ私は前回欠席しておりました、書面ではコメントしたものの、基本的には前回の議論をまだキャッチアップしていない部分もあるので、前回は踏まえたコメントにできるかどうか不安なところがあります。

前々回から高層部の機能・用途が変わっていきまして、オフィス(正しくは住宅)からホテルに変えられたということなのですが、前回の議事録を拝見すると、「マンションっぽく見えるような感じになりました」という加茂委員のコメントがあったのですが、率直な感想としては、私もぱっと見たときに一瞬「用途は住宅かな」と思ってしまったということもありながら、周りの風景とどうなじむかということも少し考えなければいけないと思いました。今回、妻側と桁側でデザインを変えるというご提案を出していただいたということで、私は前の案を見たときに、「庇は重い」という発言をしたのですが、面でデザインを変えるのがいいのかというのはわかりませんでした。今回B面とC面(資料2の21ページ)を分けるというご提案をいただいて、それ自体は一つのアイデアなので、良い・悪いではなく一つの方法かと思えます。資料2の8ページに、コンセプト・考え方の整理を改めて行っていただいておりますが、4番に「開港シンボル軸」というものがあって、都市軸に開く構成にするとあるのですが、実際は中廊下ということもあり、どうしても開かれるものになるわけではないので、「開港シンボル軸」として一番考えなければいけない大事な部分は大さん橋通りそのものではないかと思っています。その意味で、仮にB面とC面で変えたとしても、今の絵だとどうしても本町通り側がメインストリート側になっていると思うのですが、大さん橋通り側についても、この建物が街並みの中でどのように構成されていくかということ、かなり意識してデザインする必要があるのではないかと思います。ただ、今の形ですとどうしても、メインはどちらかというところB面に見えてしまっていて、面で変える・変えないというよりは、C面の部分について、大さん橋通りのストリートとしてのあり方をどのように提案できるかということが、一つかなり重要な観点になってくるかと思えます。その点に関してお考えになっていることがもしあれば教えていただきたいですし、もしその点がまだ未成熟だということになると、大さん橋通りのストリートとしてC面がどのようにあるべきかということをお考えいただきたいと思えます。

あともう一点は、これは本日の議論の対象外かもしれないのですが、やはりこの建物は低・中層部が非常に重要だと私は考えておりました、その意味で、本日は低層部の外装材なども出していただいておりますが、素材感はとても重要になってくると思うので、引き続き検討していただきたいということです。あと、向かい側に歴史的な建物もあるということですが、その辺も、歴史的な建物とこの低・中層部について、考え方としてどのように整理していくかということが結構重要になってくると思うのです。例えば、関内にある歴史的建造物は、彫りが若干深くて、コーニスなど上の部分にもいろいろ意匠がついていたりすると思うのですが、それに対して今回は、シンプルにさせていただく中で、中層部の上端でアクセントをつけていただいているのですが、そのあたりについて、よく言うような調和型なのか、あるいは現代型として整理していくのかということ、今は真ん中辺というところ、どちらにも配慮した結果、両方に対して少し弱い面もあるように見えます。現代的にシンプルにすると、プロポーションと素材がとても大きな要素になってくるかと思えますので、そのあたりを考え方として整理した上で、何か歴史的なところを背負っていくのであれば、もう少し彫り深さなどを考えてもいいかと思えますし、逆にもう少し差異を出していくのであれば、現代的なデザインとしての洗練さに磨きをかけていくということもあるかと思えます。いずれにしても、低層部の見え方が非常に重要な部分になってくるかと思えますので、引き続き検討していただきたいと思えます。私からは以上です。

(国吉部会長)

ありがとうございます。野原委員の意見は、C面、大さん橋通りの方にももう少し表情をつくれないうるかということ、中層部においてコーニスのものもあり得るのではないかというご意見だったと思います。各委員の意見を一通りお聞きしてから、また対応できるものがあるかどうか、それも議論したいと思います。では、全部参加されていた加茂委員、お願いします。

(加茂委員)

今回、高層部に関して検討を重ねられたという意味では、形としてはかなりすっきりしたという印象はあります。ただ、妻面（C面）の方が、前は庇を回しておられたので、重いという話はあったものの、陰影のある面になっていたものが、今回はスパッと切っているというところで、しかもその部分は複層塗装ということですので、そうなってくるとやはりこのつるつとした面がかなり違和感になっているのではないかとということが少し心配になりました。ユーラシア文化館もタイルを使うことで、デコラティブまではいかないのですが、陰影のあるファサードを形成しています。今回、低層部はスクラッチタイルを用いられて陰影のあるファサードを継承するような形で、一方高層部は逆にスパッと別物だというくらいの勢いなのかなという気もするのですが、ただ、C面は、この面が大さん橋通り側に出てくるとかなり大きな面になってくるのではないかと思います。そうすると、C面の外装材をもし塗装にするとしても、今の案では、真ん中に1本分岐が入っていて、その横にぼちぼちと窓があるのですけれども、もし縦線を強調されるのであれば、もう少し壁面としての分節などがあってもいいとか、あるいはそこにタイルを用いたらいいのではないかとか、そのようなことを考えながら見ておりました。C面の存在感について少し違和感を覚えたということです。

(国吉部会長)

ありがとうございました。加茂委員についても、基本的には大さん橋通りの表情とか、そういうものにもう少し工夫があった方がいいのではないかとというようなことが中心だったと思います。小林委員はいかがでしょう。

(小林委員)

前は参加しておりませんが、低層部に関しましては、例えば東側から見ますとユーラシア文化館を含めたゲート的な感覚も結構出ていて、非常にいいと思っておりました。それで、高層部につきましても、横のラインがそれにうまくマッチしていいかと思えます。それから、前回のご提案では、高層部の両側にずっと庇が回っておりまして、これは確かに重いという感覚があったのですが、今回は少しすっきりし過ぎるのかなと。何を訴えるのかという点が、上層部が少し単調になり過ぎたという感覚を持っている次第です。

(国吉部会長)

ありがとうございました。それでは、山家委員。

(山家委員)

私も今期からの参加で、これまでの経緯を余り存じ上げず、初めて見せていただく感じになるので、もしかすると見当違いなことを申し上げてしまうかもしれないですがご容赦ください。あと、審議会という非常に重い立場ですし、私の立場が都市計画ということでもあるので、できれば景観に対する考え方を主にお聞きして、余りデザインそのものについて過度に干渉するようなことは控えたいと思っています。とは言うものの、前回と今回の案を初めて拝見した中では、先ほどからの委員の方のコメントのとおりで、やはり前回案の方が全体性を感じられるところがあり、この場所は一方の軸だけではなく2つの軸が交わる場所だと考えますと、どちらかの軸だけではなく軸の交点という考え方が少しあった方がいいのかとも感じています。ただ、前回案から今回案への変更の理由が、庇の重さを軽減するためというお話だったのですが、それは確かにおっしゃるとおりで、前回案よりは今回計画案の方が庇がなくなっている分すっきりし、ボリュームそのものの重さはなくなっているのかなとは感じました。感想的なものになってしまって恐縮です。

あともう一点、にぎわいの創出というところで、1階の店舗部分がどういうデザインになっていくのかというのが非常に重要かと思うのですが、それがテナントということになりますと、これがどこまでコントロールできるものなのかということが少し気になるところです。以上です。

(国吉部会長)

とりあえず、各委員のご意見ということで、福岡委員、お願いします。

(福岡委員)

今回から初めて参加させていただいてはいるのですが、神戸市などいろいろな自治体でも景観審議会に参加してきました。今回、議題からは少し外れてしまうかもしれないのですが、ランドスケープの専門家から見たときに一番気になったのは、資料2の1ページにございます、今、山家委員からも低層部の、特に歩行者空間と接続している店舗のデザインに関するコメントがございましたけれども、この図面ではどんな植栽が施されているのか。それから店舗入り口が1か所しか書いてございませぬが、パース上は全ての入り口が開けられるような、開放性の高いようなデザインに見えなくもない。ただ、今のデザインでは、テラスと文字上は書いてございますけれども、歩道状空地の部分と歩

行者空間の間の連動性を保つために、植栽は多分大さん橋通りと本町通りで植えなければいけないものがすでに決まっていると思いますし、かなりデザインコードは厳しいと思いますが、テラスと書くのであれば低層部で家具、ファニチャー、植栽をどういうふうに工夫をしていくのかということは舗装も含めてもう少し資料に記載をいただいて、そこもきちんとご議論されたほうがいいかと思っております。それが、低層部に関して1点です。

それから2点目は、資料2の7ページの一番右下にございますが、この計画地は海に向かう公園軸の一角を担う場所になっています。2ページにも関内地区における景観計画の「方針の達成に向けた行動の指針」(4)に「緑化や水際の活用により、まちに潤いを創出する。」と書いてありますが、低層部の周りの歩行者空間の部分の植栽は決められたものを植えていくという感じになると思いますけれども、1ページの右下にあります7階のテラス、つまり中・低層部の屋上の部分が一体どうなっているのかということが初見で非常に気になりました。ここは「テラス」「ミーティング」と書いてあるのですが、7階の平面図がありませんでした。都市的な空間としては、ホテルの7階のテラスというものは非常に魅力的な空間でして、うまく使えば低層部でできないことを、ホテルの利用者が対象にはなりませんけれども、ルーフトップの空間として、例えばテラスにしたり、もしくは植栽を施したり、さまざまな可能性がある場所だと思うのです。今回、7階の平面図やテラスに関する情報は全くありませんので、その部分は、景観・美的にはいろいろなお議論があるかと思いますが、機能という意味ではもう少し何か工夫があってもいいのではないかと思います。その部分で何か考えられていることがあれば、テラスと書いてあることは一体どういう意味なのかということをお教えいただければと思います。以上です。

(国吉部会長)

ありがとうございます。一通り各委員のご意見をいただきました。その中で、福岡委員から目新しい質問としてテラスについてのことがありましたので、ご説明だけいただけますか。

(事業者)

7階のテラスは、ホテルの建物の中でラウンジとかフィットネスとか、利用者の方が利用できるものがありまして、ルーフトップのところにテラスという形で、張り出しでデッキ状のものを、外に出てお茶を楽しんだりくつろいだりとか、植栽もしております。ホテルの利用者がくつろげるような空間にしております。

(福岡委員)

平面図はないのですか。

(設計者)

平面図はあるのですが、景観上その部分が見えてこないということもありまして、今回の資料には添付しておりませんでした。

(福岡委員)

植栽の大きさにもよりますが、プランターに入れていくのか、もしくは屋上緑化として入れていくのであれば、先ほどのファサードの中・低層部の上、分節しているところにも少し緑のものがふわっと見えてきて、人のにぎわいが見えてくるのか、もしくは本当にちんまりとしたプランターをただ置いただけなのか、その辺がどれぐらいの大きさのテラスなのか、どんな植栽を入れてくるのかというのは景観にも関わってくるのだと思いますので、もし何か絵があれば見せていただけますか。

(事業者)

今持ち合わせていないのですが、植栽はルーフトップの部分の外側にプランターを回しまして、植栽の種類については検討中なのですが、背の低いものというよりは、高くもなく低くもなく、中・低木ぐらいを考えています。トップのところから出てくるかどうかというのは、その辺はぎりぎりか、成長したら出てくるぐらいの大きさの木を考えております。

(国吉部会長)

ありがとうございます。出てくるといいなというニュアンスで多分お聞きしたのではないかと思いますが、その辺は今後の検討の中で、可能であればご検討いただければと思います。

(事業者)

社内でも両方議論がありまして、見せたほうがいいのではないかという意見がある一方、余り高過ぎると風によって木の種類も限られてきますので。

(国吉部会長)

そんなに大きく出るのでなくて、通りから緑が感じられるぐらいのことで相効果があるのではないかと感じます。

(福岡委員)

そうですね。緑量を出せというのは多分違うリクエストだと思ってまして、今お話ししている中・低層部と高層部をエレガントに分節する意味でも、そこに緑がちらちら見えながら人がいる空間があって、ふわりと分節されて、というのは、多分緑化の話ではなくて空間の質を高めるという意味では非常に重要だと思いますので、今後この平面形態のバランスだったり、テラスやデッキ、それからどういうふうに室内と連動しているか、その辺も含めてわかる資料があるといいかなと思いました。

あと、1階部分はこの店舗の入り口を暫定で書いていただいていると思いますので、その部分もう少し詳しい情報を次回以降いただければと思います。

(国吉部会長)

1階部分については、やはりもう少し使い方も含めてということでしたが、これは具体的には何かありますか。

(事業者)

先ほど、テナントコントロールと言われたとおり、今回ホテルの朝食などには利用できつつ、ホテルの飲食よりは別のテナント、カフェなどを誘致する予定です。サッシについては、大きく開放できるようにして、テラスとのつながりを持たせようとは考えております。

(野原委員)

それがサッシなのか入り口なのか、要は開放可能だけれども、あるイベントがあったときに開けるということと、日常的に出入りが可能であるかということであるいろいろ変わってくるかもしれないので、そのあたりもご検討があるといいかと思います。

(事業者)

今は具体的なテナントが決まっておりませんので、どうしても決まってからそのテナントの運営と連携するという形になりますが、我々の考えとしましては基本的に、季節のいいときには開けて外側でも内側でも楽しんでいただくというようなことは考えているのですけれども、まだ決定ができない状況ではあります。

(国吉部会長)

ありがとうございます。1階部分のテナントが決まってからという話がありましたが、その辺については市の方で最終的に調整していただきたいと思います。

高層部についてですが、幾つかご意見は出たのですが、これまで相当こちら側からも意見を申し上げたりして、変更、苦勞されてきておりまして、またこれから大幅に変えるような工夫をお願いするのは非常に事業をされる方に対しても失礼かという感じがしております。本日いただいた大さん橋通り側をもう少し表情を豊かにしてほしいといったようなこと、それから、先ほどのランドスケープ的な部分で、7階のテラスのところに緑の表情を加えるとか、そういうことも含めた検討をさらに進めていただきたいと思いますということでまとめたいと思うのですが、いかがでしょうか。よろしいでしょうか。

(野原委員)

先ほどの福岡委員のご提案の話にリンクしてくる可能性があって、壁面でどうするかということはもちろんありますが、オープンテラスのところをうまく使うことによって、大さん橋通り側の風景をつくっていくというのもやり方としてはあるかもしれないので、いずれにしても「妻面側」ということになってしまっている大さん橋通り側の風景をどうつくるかということを総合的に検討いただければと思います。

(国吉部会長)

ありがとうございます。つけ忘れましたが、情報文化センター等で使っているようなコーニスの表情とか、コーニスにするかどうかは別として、トップの方の表情についてもご提案がありましたけれども、その辺も少し今後の検討課題として都心再生課と議論していただければと思います。そういったことを踏まえて引き続き市と協議を続けていただくということで、基本的に協議方針は了承するというのでよろしいでしょうか。

(了承)

(国吉部会長)

ありがとうございます。そういうことで進めさせていただきたいと思います。どうもありがとうございました。

(鵜田書記)

どうもありがとうございました。おおむね了承ということで景観協議を進めたいと思っております

が、出された意見に関しましては必要に応じてまた報告させていただくということで、よろしくお願いいたします。

議事 2 特定都市景観形成行為に関する協議事項及び協議の方針に関する意見について
(みなとみらい21中央地区都市景観協議地区西区みなとみらい5丁目1番地) (審議)

資料を用いて、事務局、関係局及び設計者から説明を行った。

(国吉部会長)

ありがとうございました。前回の部会で、協議を円滑に進めるために景観アドバイザーを任命して、実際、市当局と一緒に協議に加わってアドバイスをするというので、私が指名されて2回ほどこの間議論してまいりました。それで、本日事業者からご説明があった内容はそれも踏まえておるわけですが、議論の内容を大別して言いますと、ガイドラインには沿っているのですが、余りにも周りとの調和ということですので均一的にそろえていくのではなくて、そういったことを踏まえながら建物としての特性ももう少し出してもよろしいのではないだろうかということ、あるいは54街区という建物とファサードをそろえろとか、そういうことは必要ないのではないかとということ、それから、グランモール軸、日産から来る軸から来て、グランモールに入っていくゲートにもなりますので、ゲート的な広場空間としての演出を、都市内の新たな広場としてのつくり方をもう少し楽しくしてもらえないかというようなことがあったと思います。

それから、グランモール軸を意識するために、当初の案は、直線的に雁行したビル間の空間に長方形の大屋根がストレートにかかっている、周りとの関係が非常に不安定でただ軸を強調しているだけということで、そうではなくてここ全体が大きな広場空間として、歩行空間でもあり広場空間としても使えるようにあまり形にこだわらない、有機的な大屋根にするべきではないだろうかということで、この形自体は私ではなく設計者からそういったことも踏まえて提案されてきたということになります。

そしてファサードについて、高層部につきましてはかなりよくなってきたと思っておりますが、先ほどみなとみらい21推進課からもありましたように、みなと大通り側に対する縦の軸の表情については細かく見ると少し重たい感じがあるので、その辺は今後検討していくということで、これで最終ではございません。今後検討があるということです。それから、低層部につきましては、ヤマハさんのいろいろな音楽のスペースがあったり、非常ににぎやかなことがあるので、そういったものを生かしながら、より広場と連動したにぎわいがつながる形で使ってほしいというようなこととか、まだ具体的に出てきておりませんが、広場の使い方の事例とかそういったものとあわせて、特に2階レベルの各店舗のファサードのつくり方とか、そういうことは今後検討していただくということになっているかと思っております。

残念ながら私が関わったときには54街区はもう決まっております、別の事業チームによってつくられていたもので、そこについてはもう触れられないという状態であったものですから、54街区が完成しつつある中で、そことの連携を踏まえながら一体感を図るということ、これからできることを工夫していただきたいということでやっていただいた経緯でございます。そんなことでご説明いただきましたが、今後について参考になるご意見等をいただければと思います。加茂委員がもう失礼されるということで、もしありましたらご意見をいただければと。

(加茂委員)

意見というよりちょっと質問にもなるのですが、先ほどのご説明の中で、この建物が周りから突出するというお話があって、それを強調されているような印象を受けました。建物の高さを高くして、それでここが都市軸の交点だから一つのポイントとなるというようなことは十分に理解できるのですが、よく見ると隣の54街区の建物との関係なのですが、パースを見ると、一番高いところではない高層部の中間で既に高さがたつと差がついていて、それでさらにもう一回上がるようになっていますが、この辺の見え方がどうなのかなと。例えば、高層部の高さをそろえて、そしてさらに一番上の高さに持っていくとか、そのあたりは周辺との群像というか、全体を考えてこういうふうにされたということで、パースではほぼ同じように見えるのですが、実際はがたがたして、その高さも違っていると。何かそのあたりが少しまだ理解できない部分があります。それから、そのホテル棟の部分で、私もやはりこのパースで一番感じるの、白く上にぎゅっと伸びているL型の部分

が、ここだけ他のところとも素材感が違う、何かとってつけたようなイメージがあります。パースでは日産から向かっているパースなのですが、海に向かって力を働かせていった方がいいのか山に向かって働かせていった方がいいのかというような、そのところの強調感みたいなものも、高くするのだとするとどのように高くするのかというところがもう少し議論するところなのかなと感じました。

(国吉部会長)

ありがとうございます。実は、ここはキング軸に沿っているわけですが、もともと横浜市がプロジェクトを組んだときの発想では、クイーン軸と同じようにキング軸も200メートル以上の高いものから海に向かって下がっていくような、そういうことも期待していたところなのですが、なかなかそこまでの需要がないということで、そんなに突出したものはできてこなかったのです。そういう中でできるだけキング軸としての、海から陸への上昇感みたいなものを表現していただけないだろうかということがこれまでの経緯で、それに応える形でやってきたと思います。みなとみらい21推進課からも何かありましたら。

(みなとみらい21推進課)

ランドマーク性につきましては、やはり一番わかりやすいのが高さを200メートル、300メートルと上げることだと思っています。そのためにわかりやすいのが、細く高くするということがあるのですが、それは今回追い求めています。それについては、2棟構造であるということと、今、大きなオフィスプレートが求められているということから高さが出しにくいという状況の中、高さそのもので勝負するというよりは、低層部のにぎわいづくりで勝負していくという、そこで特徴を出して、「あそこに53街区があるな」というふうに地区外の人にも思ってもらえるような計画づくりをしようということで協議を進めてまいりました。

あと、54街区の上端のラインと、53街区のオフィスの上端のラインをそろえるべきではないかというご意見でしたか。

(加茂委員)

その高さの決め方がよくわからなかったということです。

(みなとみらい21推進課)

基本的には事業の中で必要なオフィス床がこれぐらいあるというような決め方をしている、その機能と合致したフォルムにはなっています。ここは、52、53、54街区で一体開発を求める街区ではあるのですが、その中でも特に53街区のWEST棟に象徴性を求めたいと私たちも思っています。そう考えたときに、必ずしも大きなボリュームの上端をそろえるということは必要ないかと思っていて、53街区が全体として突出していることが大事だと思っています。

(加茂委員)

そのあたりが、やはり都市景観としてどう考えていくかということが横浜市としても要なのではないかと思えます。全体としてはずっとそろっている感じで、53街区が突出していく。そろえているけれども突出しているということが、まずとても中途半端で、さっきタワーという話もあったのですが、象徴性なのか、それとも全体としての景観なのかというところで議論が必要ではないかと。低層部のにぎわいについては全然良いのですが、この見え方は、これからの一番のポイントになってくるのではないかと思うので、パースを見ると54街区とそろっているように見えるのだけれども、実際はそこだけ違和感のある存在感のあるものがぼんと出てくるのを求めていくのか、そのところは強調して、何か遠くから見たときのランドマークとなるタワーとか、何かそこに向かっていくためのポイントとなるとか、ちょっとまだ理解できないところです。

(国吉部会長)

私も含めて議論した中では、均一感ということでガイドラインをつくってあるのですが、このゲート性みたいなもの、このクロスのポイントというのは非常に重要であって、そこを認識してもらうということが非常に重要ではないかということで、その辺を隣のビルと両方で協調して演出できればよかったのですが、手前のほうは既に固まっておりました。一方で、先ほど申しましたような、高さの演出みたいなものを狙っていったというところからこういう表情になっていったということです。ちょっと、今ご指摘の話を受けて、他の委員さんのお話も聞いてみます。どうもありがとうございました。ほかの委員さん、何かご意見ございますでしょうか。

(野原委員)

高層部に関しては私も同じように思いましたので、まさに52、53、54街区の群としてどう解けるかということを検討していただきたいという意見は一緒です。

低層部に関して幾つかありまして、やはりここはグランモール軸とキング軸がぶつかる場所という

意味でも一番大事な軸線を構成する場所なので、その軸線に対してどういうスタンス、どういう形で説いていくかということがすごく重要になっていくと思います。今、グランモール軸に対する面に関しては、新しい大屋根のご提案をうまくすることで、抜けつつ受けとめるということをご検討いただいているとは思いますが、これはこれでおもしろいご提案だとは思っているのですが、やはり新高島の駅からグランモール軸が見えてくるあり方とか、あるいはグランモール軸からそちら側が見えてくる時の抜け感というのも同時に大事なところがあると思っています。屋根はうまく生かしながら低層部に、3階、4階あたりにもうワンスパンというか、もうちょっと間をあけていただいて、向こう側を見通せたり、お互いが目線として両側を行き来できるというところがわかるといいなど。どうしても形状と敷地の配置上、高層部を軸から見ると建て詰まっているように見えてしまうというか、実際はずれていて離れていたとしても、見え方としては一体の壁に見えてしまうので、それはそれでやむを得ないとしたら低層部のところをうまく、ちょっと抜いたりしながら視線をうまく誘導して、奥にお互い行きたくくなるような、屋根もその一つのアイデアだと思うのでうまく生かしつつ、そのあたりが見えてくるいいなと思ったということが1点です。

2点目が、今度新しくできるキング軸ですが、こちらがあまりまだどのようなのか具体的なイメージがわからなかったというか、ご検討中なのかもしれません、資料2の10-2ページの左上に「キングストリート」とあり、そこに1個パースがありますが、これがどこを指しているのかいまいちわかりませんでした。これと、12ページの緑化計画の上部にも「歩道状空地」のところにイメージが描かれているのですが、まだ何となくそこが整合している感じがしなかったのが、具体的にどういう場になるのかわかりませんでした。もちろん色々なアクティビティなどをうまく誘発しながらイベントなどを行っていくことは大事ですが、ただ、それがどうなるのかがオペレーション、マネジメントによるので全然わからないというところです。ただ、イベントが仮になかったとしても、その風景をどうつくっていくかということもすごく重要で、その状況に応じて誰もいなくなってしまうということだと困ります。今までみなどみらいは、エリマネとしてもアクティビティフロア、コモンスペース、歩道状空地をうまく使いながらそのような場所をつくってきたと思うのですが、場所は増えてきているのですが、やはりまだ使われにくいとか使われていないとか、そういう場所がすごく多いのです。なので、もちろんオペレーションでどうするかも大事ですが、場をつくるだけではなく、仮にオペレーションがなかったとしても風景としてどういう場をつくることができるかということが非常に重要だと思います。特にここに関しては、事業者のみではなく横浜市も含めてキング軸をどうしていくかということ全体を考えていかなければいけないところだと思うので、ようやく来たキング軸ですので、ここは非常に重要な場所だと思うので、ぜひご検討いただきたいと思います。

最後は、先ほどの建て詰まりの話もあるのですが、風環境がどうなっているかということをやちゃんと確認していただきたいと思っています。最近、そういうアクティビティがすごく増えているのですが、実際にやろうとすると吹きおろしでパラソルが飛んでしまいますとか、実際やろうとするとできない、大変、などということが他のところでも起き始めている感じがします。そうすると、絵としてはにぎわっているように見えても、実際に行くと風が強くて全然使えませんとか、そもそも建物間が細まっていますので、そういうところに不安な点もあると思います。やはり全体としての風環境とか、そういうところもあわせたトータルなデザインをしてほしいと思います。以上です。

(国吉部会長)

他の委員、ご意見ありますでしょうか。どうぞ。

(小林委員)

2点ありまして、若干質問にもなるかと思いますが。スカイラインに関して、海の方から次第に高くなるという形、それから、ランドマークタワーから少し低くなってまた高くなって横浜駅側に連結していくという形は、非常にいいなとは思っております。その中で、1つは、53街区のビルから横浜駅側へは日産の方に続くのだと思いますが、高さの点であまり触れられていないということが疑問に思っております。それと、誤解があったと思うのは、本当は事業者側が153メートルではなくもっとビジネス的に高くお建てになりたくて、それは、スカイラインの関係からも非常にいいのかと思っていたのですが、逆に事業的にはもう少し低くていいところをご努力いただいてこの高さになっているのかなという、そこがどちらなのかということがよくわからなかった点です。いずれにしても、スカイラインのイメージからは非常にいい方向だと感じております。

それからもう一つは、54街区、52街区との関係なのですが、よくわからなかったのは、参考資料の2階平面図で、ペDESTリアンデッキが三方に通じるという趣旨かと思っているのですが、既に着工されている54街区の方とはペDESTリアンデッキはつながるのかということ。それから、52街区

は今後計画された場合にうまくつながっていくのかということが少し気になったところです。せっかくの重要なポイントですので、そのあたりがうまくつながってにぎわいを創出いただければいいと考えている次第です。

(国吉部会長)

ありがとうございました。54街区とはグランモール軸上、日産側から来るデッキでつながっておりますが、みなとみらい21推進課から説明してください。

(みなとみらい21推進課)

デッキレベルでは54街区から53街区につながってまいります。そのまま53街区から歩道橋を渡ってグランモール軸におりするという計画になっています。なので、逆から行くと、グランモール軸(公園)から歩道橋を渡ればそのままデッキレベルで54街区につながり、日産の本社ビル、横浜駅まで渡って行かれるという動線計画になってございます。

(国吉部会長)

52街区との関係は。

(みなとみらい21推進課)

52街区につきましては、今後公募していく市有地と国有地になってございますが、このデッキのネットワークをきちんと活かして52、53、54街区で一体的な開発を目指していくための開発条件をただいま整えている状況でございます。

(国吉部会長)

ありがとうございました。他の委員の方。どうぞ、福岡委員。

(福岡委員)

ありがとうございます。3点あります。まずは資料2の10-2ページについて。ランドスケープとかオープンスペースのつくり方に関して、大枠で5つの広場をしつらえたとか、そういう方針まではいいと思いましたが、少し細かくなっていきますけれども、まず1番目は広場の性能に関してです。この図で5つの広場の概要が示されているのですが、11-1ページでは、この図で全ての広場が俯瞰できます。私が気になったのは、さっき野原委員もおっしゃったのですけれども、やはり広場の大きさを考えていく上で、グランモールプラザが一番大きい広場ではあるのですが、このままでは通常人が通り抜けてしまって、なかなかそこに滞留しないのではないかと思います。グランモールプラザに関しては「音楽のイベント」と書いていただいているのですが、計画を詰めていく上で、もう少し具体的に、例えば小さい滞留空間のつくり方、個人的にどのように使うか、どれぐらい滞留するかという、5人から10人ぐらいのスケールの活動もあると思いますし、ちょっと買い物をした後に休むとか、そこで少し休憩をして何か食事をとりたいな小さい活動です。それから、中程度のもう少し毎日行えるような活動。それから、イベントについて、グランモールプラザで書いていただいている音楽ですが、スケールが、例えば1人から数百人もしくは数千人まで広がるとなると、今の段階ではもう少し利活用のプログラムを具体的に想定しておいて、どういうふうにテーブルを配列するのか、どういうふうにステージを置くのかとか、我々も設計のときに大体100パターンぐらい検討して、朝、昼、晩でどう変わるのか、土日でどう変わるのか、1年でどう変わるのかということをしミュレーションした上で計画をするので、そこら辺はもう少し詰めたほうがいいのではないかと。これだと、ステージの位置もそうなのですが、ここで人が軸を抜けていく中で少し人が滞留するかなという感じですので、その辺の利活用を踏まえた性能をもう少し工夫した方がいいかと思います。滞留空間のつくり方に関しては、舗装のつくり方で、今広場はレベルが大きな変化がある形でつくられているのですが、少し大人数が座れるテラスであるとか、バルコニーとか階段とか、階段もいろいろな階段のつくり方がございますので、その辺、少し工夫をされた上で計画していただくといいかと思います。あと、この広場の性能なのですが、野原委員からもお話がありましたけれども、風がかなり強く吹きおろす場所だと思いますので、風のシミュレーションをどうするかという話です。あとは光についてですが、夏はとても暑いと思いますので、グランモールプラザは多分人がいられないと思います。先ほどご提案いただいた大屋根も、どれぐらいの影を落とすのかとか、効果的なのかということも含めて機能を持つべきで、美的には軸をまたがるような大きい屋根であるのですが、日よけの役割や冷やす役割も必要かと思います。それから、水に関して言いますと、横浜市は中長期計画(正しくは中期計画と長期ビジョン)でも下水道計画でもグリーンインフラのことを書いているのですが、グランモール公園でやっているように舗装の下にこの敷地全体で集まった雨水をためて、例えば舗装からしみ上がらせて冷やすとか、そういうこともできます。人がいたくなるのは、日影があって、座るところがあって、涼しくて、人からちょっと隠れて、いて楽しい、ちょっと囲われ感があるとか、

基本的な広場の性能についてその辺はもう少し工夫できるのかなと思ったのが1点目です。あと、大屋根に関しては、非常に動きがあつていいと思うのですが、今の時点で遠くから見たとき、遠景での検証、中景での検証、近景での検証が必要かと思つていて、今はまだ近景のパスしかないので、ちょっとスケールのには大きいかなと思います。地上部と周りを結ぶ上で、音楽のイベントをやったときにこのルーフが本当に生きてくるようなスケールになっているかとか、その辺は色々なスケールで検証されたらいいのではないかと思います。それが1つ目、広場の性能に関してです。

2番目は、広場が5つあるのですが、その連動性に関してです。11-1ページについて、ここを出てくる広場、特に気になったのが、ゲートプラザとグランモールプラザの間の階段が非常に小さくて、ゲートプラザとグランモールプラザをもし体的に活用して、そこで両方使って音楽のイベントをやるみたいな可能性があるのであれば、階段はもう少し違うつくり方があると思います。この下に、もちろん店舗が入っていたりとか建築の性能があるのはわかっているのですが、今のしつらえですとどうしても広場間のステップの段の間の調節の仕方、階段のつくり方とか、ここに例えば人が座れるようにしてあげたりとか、この上と下が本当に連動するののかというのは、歩いて動けるだけではなくて、もう少しそこで座ったときにゲートプラザがどう見えるかとか、ゲートプラザに座ったときに上のグランモールプラザの活動が魅力的に映るかとか、そこは高さ的には問題があるのかもしれませんが、少し調整の可能性があるのかと思つていました。つなぐというのは物理的に歩いて回れるだけではなくて、もう少しテラスとかエッジのつくり方とかを柔らかくして、この5つの広場を回遊できるようにということは非常に重要だと思つていました。それから、これは54街区の広場のデザインが示されていて、調整が難しいのかもしれませんが、これは既に決まっていますもう動かさないですか。さっき、2つの棟のシミュレーションのところに出てきましたが、このデザインが変わっていると思つていました。あまり口出ししないようにしますが、せっかく基壇部でゲートプラザと連動していますので、ここは結構大事なのではないかと思つています。今さらですが、街区全体での広場の連動性ということが大事だと思つていたので、個別のデザインに加えてもう少し連動性をどうするかということが2番目です。

それから、3番目は緑化のことです。私は緑が専門ですが、緑についての12ページを拝見していますと、横浜市の木のケヤキを植えているとか、ハナミズキが入っているとか、そういうことはわかるのですけれども、キングとグランモールの軸がクロスしていますので、植栽に関してもキングとグランモールで軸に合わせて植栽の構成を少し工夫していくこともできるかと思つていました。あと、一番気になったのは修景イメージというところに載っているデザインコードです。あと、ゲートプラザに使っている三角形の芝生なのですが、これが色々なことをやる時に結構ハザードになるのではないかと思つていました。象徴的に、見た目で三角を入れると格好よくは見えますが、使い方を考えていったときにこのデザインコードとしてはもう少し障害物にならないように気にした方がいいかなと思つたのと、植栽はもう少しコンセプトも含めてもむ方がいいかと思つていました。ボリュームもそうですが、軸の考え方、それから、植栽の性能として在来種であるということも大事なのですが、この広場を冷やしていく性能、それから、人々にそこにいたくなるような囲われ感をつくってあげるとかいろいろな役割がありますので、もう少しその辺を、緑だけではなくて水循環のことであるとか、遮熱環境のことも含めて考えていただくといいのかなと思います。舗装も多分同じだと思います。今、いろいろなものが計画段階では入り過ぎているのかなと思います。ストライプの舗装とか三角形とか色々入っているのですが、もう少しシンプルに、まずは大きい方針として、非常にたくさんの人に使われて居心地がいい広場が5つ連結しているということが出てこないといけないのかなと思つていました。長くなりましたが以上です。

(国吉部会長)

どうもありがとうございました。山家委員。

(山家委員)

もう他の委員に言っていたいただいとおりだと思つているところも多いのですが、やはり私も気になるのは軸線です。みなとみらいだとクイーン軸とグランモール軸は既に目に見える非常にいい軸線を構成しているので、グランモール軸に関しては、さっき福岡委員もおっしゃっていましたが、もうちょっと大きなスケールの中で、今、このパスだとペDESTリアンデッキからは確かに通っているように見えるのですけれども、全体をもう少し引いたスケールでお考えいただけるといいかなと思つていました。キング軸は、先ほど野原委員もおっしゃっていましたが、いよいよキング軸がどういう形になっていくのかということが見えるところでもあるので、その辺をぜひご検討いただければと思つていました。

そもそもですが、これは横浜市にお聞きしたいところで、53街区というのはグランモール軸を受けるかなり特徴的な敷地になっていて、高層棟ではなく低層階でグランモール軸を受けるという考え方でよろしいのですか。

(みなとみらい21推進課)

グランモール軸につきましては、こちらも市有地の公募なのですが、開発条件の時点でデッキレベルでつなげてくださいという条件にしておりました。なので、キング軸はメインが地上、グランモール軸はメインがデッキレベルということで、立体的に交差するという構成を考えて公募を行っています。

(山家委員)

今回の事業提案というわけではなくて、全体のボリュームそのものの中でグランモール軸を高層部も含めて受けるという考え方もあったのかなと思ったので、そのあたり公募条件、そもそもの考えがどうだったのかというのをお聞きしたかったところでした。以上です。

(国吉部会長)

各委員から貴重なご意見をいただきました。最後の山家委員の意見につきましても、もともとガイドラインに沿ってきちんと計画してこられたのですが、やはりグランモール側から見たゲート性みたいなものを高層部の表情の中でも少し持ってもいいのではないかと。多少ガイドラインを崩すことがあっても、受けるようなつくり方というものもあるのではないかとすることは申し上げてはきております。引き続き、その辺については含んでもらえればと思っております。本日は各委員から貴重なご意見をいただきました。特にランドスケープに関しましては、福岡委員から今後検討していくのに非常に貴重なご意見がたくさんあったと思います。今後、それを活かしていければと思います。

一番重要な点で、高さについてです。加茂委員からそこだけが突出するのはどうかという意見があったのですが、やはり全体としてゲートとしての象徴性みたいなものを出したいということと、もともと本当は高くしたかったのですが、オフィス運営する側からするとワンフロアが広いほうが良いということが昨今の状況でありまして、狭く高くよりも広く低くということが、ビル経営ではそういう傾向になっていて、あまりスリムに高くという計画が出てこない傾向にあった。その中で少しでも工夫をしてもらえないかということでこういうふうになってきておりますが、54街区ではその辺がうまく調整できていなかったというところもあるのですが、この53街区においてそういう部分を取り入れるということは了承していただきたいと思います。よろしいでしょうか。その辺を踏まえて、まだ課題になっておりますエッジの白い部分のつくり方については、今後とも検討していくということ。

それから、野原委員から、ビルそのものの形状からももっと隙間感を出せないかということがあったのですが、それは結構難しいかと思うのですが、先ほどの大屋根と一緒に合わせた表情で抜け感が演出できるかどうか、その辺は引き続き検討をいただければと思います。

そういうことで、途中経過という感じで本日は説明していただきましたが、各委員から本日出た意見も踏まえて今後進めていければと。一番大きいのは、できれば54街区について、まだ工夫できるところはやっていただきたいということです。これは横浜市サイドに対してのお願いですが、その辺の調整をうまく図って、両者をうまく調整するということです。

それから、キング軸は54街区サイドでつくり、この計画に入っていないのですが、そちらについては非常に重要なので、そこの調整と、53、54街区の両方の広場をどうやって運営していくかと、そういうことも含めて検討いただければと思います。これは市に対する要望でもあります。よろしく願いします。以上で、今回の議論を終えたいと思います。よろしいでしょうか。

では、事務局にお返しします。

(鵜田書記)

ありがとうございます。この件につきましては継続案件ということで、次回、より詳細に、指摘された事項、それから54街区との関係性、また緑化計画、低層部のつくり込みなど、また付議させていただきます。ありがとうございます。

議事3 連節バスを活用した「高度化バスシステム」について（審議）

資料を用いて、事務局及び関係局から説明を行った。

(国吉部会長)

ありがとうございました。広告付バス停を許可する根拠についての説明がありまして、設置の場所等についての説明もあったのですが、前回の議論で、どうせ設置するなら歩車道の境のところに置く方がいいのではないかというご意見があったのですけれども、もろもろ調べてみますともともと歩道が食い込んだ場所で3メートルの歩道をとるために港湾緑地を提供してもらって歩道的な空間をつくらしている。歩車道境界側に置くとなると、実際、上屋を置いて実態的に歩行空間を3メートルとるためにはさらに奥に歩行空間をつくらなければだめだということで、それを長い距離にわたってつくとすると、それは港湾緑地サイドからの提供も難しいということもあって、一番効率的に置くためには上屋のところだけを食い込んで借りるしかないということで、これはやむを得ないかなという感じがいたしました。そういうことで、前回の指摘に対してはこれで検討は十分されているかと感じておりますが、何かご意見がございましたら。質問でもよろしいです。どうぞ。

(野原委員)

これも前からの継続で、かつ私が欠席した日の案件なので、多分誰もはや前の議論を、部会長以外はお存じないのかもしれませんが。3点ありまして、1点は景観阻害のチェックということで、夜間をチェックしてほしいということです。今まで、広告付バス停上屋だけではなくて、案内サインも含めてかなりこの数回議論したりチェックしたりしてきましたが、案内サインの方でも夜間で色温度が高い状態、要は白系とかいうのはかなり周りで浮き立つという指摘がありまして、その確認もできましたので、今回、夜間においてこの面がどういうふうに見えるかということを引きちんと確認していただきたいということが1点です。

2点目は、3ページ目の視点場1、2というのを見ますと、やはり海への眺望との関係が阻害されている感じがするので、レイアウトを工夫していただいて、海との関係がうまくできるようなところを検討していただきたいということが2点目です。

最後、3点目ですが、屋根の上に内照のロゴが出ていると思うのですが、せっかく統一的なデザインとしていろいろなところを一体的にやっていくというのは、何か起きたときに足し算するのではなくてきっちりこのデザインの中におさめていくというのが広告付バス停のデザインのあり方ではないかと思うので、何かあったときにどんどん上に足し算が増えていってしまうと、せっかくの一体的なデザインシステムのあり方の大事な部分がそげてしまうのではないかと思うので、このバス停も中でうまくおさめていくような工夫をしていただきたいという気がします。以上です。

(国吉部会長)

どうもありがとうございました。今のご意見の中で一番大きいのは、通常のバス停はこの帯の中に全部おさまっているのですが、ほかにもう一つサインをつけているということがどうかということですが、それについてはどうでしょうか。

(梶山書記)

まず、今回のバス停は高度化バスのバス停であると同時に、普通のバス停と共用するということもあって、ほかのところも含めて、普通の路線バスのバス停上屋であり、高度化バスを併用するというデザインをどう考えるかということがデザインの考え方としてはあったのですが、高度化バスということだけで見てしまいますと、普通のバス停が使いづらいということもあったので、基本的にはこのバス停のデザインというのは一般の路線バスのバス停の上屋のデザインに「高度化バスも使えますよ」ということを加えたという、そういったデザインコンセプトになっているということがございます。ですので、上に加えているということは、そういった視点で、基本的には上屋は路線バスのバス停と同じデザインをしつつ、全体の高度化バスのデザインコードと合わせたようなことを路線バスにもうまくくっつけていくということで、今のデザインが提案されているということにはなっています。

(国吉部会長)

要するに、連節バスのバス停を差別化したいということなのですか。わかりやすくしたいと。

(梶山書記)

差別化しつつ、路線バスのバス停としてもきちんと使ってもらえるようなデザインにするということで、路線バスから逆に逸脱して、高度化バスのデザインだけで全部統一したバス停になってしまうと路線バスの利用者からわかりづらいということがあるので、基本的には路線バスのデザインは踏襲しつつ、さらに高度化バスのデザインコードがありますので、それをうまく合わせたような上屋のデザインにしています。

(国吉部会長)

通常のバスもここにとまるのですか。とまる場所もあるのですか。

(梶山書記)

ここはとまらないのですが、ほかのところも統一した形で考えておまして、ほかの高度化バスのバス停ですと路線バスがとまる所もかなりあるということになります。

(国吉部会長)

でも、結局、連節バスのバス停という存在を明確にしたいということにしか見えないと思うのですが、そういうことですね。

(梶山書記)

そうです。高度化バスのバス停であるということもきちんと目立たせたいということもコンセプトの一つにはあります。

(野原委員)

高度化バスであることを示してはいけないと言っているわけではないので、例えば縦の帯のところは多分普通のバスとは違うデザインをされているでしょうし、そういうところもあると思います。ただ、広告は今までほかの規制とかコントロールとかしているときに、一般的にサインや広告は見せたいからつけるのでほかと差異化は図りたいと思うのですが、それをどんどん足し算していくと結局ごちゃごちゃの結果になってしまうということはどう整理するかが、まさにこういう案内とか広告のサインを考えていくときの基本なのかなと思っているので、うまく中におさめるような形で、かつわかる、ということ工夫してほしいということなのです。例えば、部分的に色を分けながら工夫して、連節バス用のロゴと色をつけるのだと思うのですが、そういうところを工夫していただくとか、あと、帯の部分を何か工夫していただくとか、やり方はいろいろあるのではないかと思いますので、そういうところをうまく工夫しながら全体のマネジメントをしていただきたいという、そういう意味です。

(国吉部会長)

では、ご意見として賜って、できるかどうか検討してください。あるいは、現在ほかで使っているものをあまり逸脱しない範囲でどれだけできるか。もう少しスリムにできないかとか、あるいはシェルターの内側に組み込んだらどうなるかとかも含めて検討いただきたいと思います。その結果はまた教えてください。

そういうことで、課題については新しいターミナルができ相当のお客さんが来るということで、そこから来られた方の利便性を図っていくということで、キャリーバッグなどを持って雨露を避けるとか、やはりここでは上屋が必要だろうということで、市の政策としてやっていきたいということでございます。そういうことからここに設置することになったということと、できるだけ現在の港湾緑地をいじめない感じでスペースを確保するためにこういう形をとらざるを得なかったということでございます。そういう中でも、先ほどの野原委員のご意見をどれだけ組み込むことができるかは、また関係課で考えてみてください。以上で、この案については了承ということにしたいと思いますが、よろしいでしょうか。

(異議なし)

(鵜田書記)

ご審議いただきましてありがとうございます。これについては、ただし書きを適用することですよろしいですか。

(国吉部会長)

そうですね。景観計画に沿って、市長の認めたものについては了解するというですよろしいかと思えます。

(鵜田書記)

ありがとうございます。夜間の状態ですとか海への眺望については、また報告させていただきたいと思えます。ありがとうございます。

議事4 その他

なし

閉会

(国吉部会長)

桜木町の駅周辺の、例えば駅の北口の西側とかに、新しいWi-Fi付の案内サインができていますの

	<p>で、時間があつたら見てください。</p> <p>(鵜田書記)</p> <p>ありがとうございました。本日の議事録については、横浜市都市美対策審議会運営要領に「審議会があらかじめ指名した者の確認を得ることとすることがきる」とありますので、作成後部会長に確認を頂いたうえで、公開いたします。これをもちまして、第54回都市美対策審議会景観審査部会を終了いたします。</p>
資 料	<ul style="list-style-type: none"> ・ 次第、参加者名簿、座席表、第53回議事録 【議事1】 ・ 資料1：前回の審議会をふまえた事業者との調整事項 ・ 資料2：景観形成の考え方 【議事2】 ・ 資料1：事業者提案に対する市の考え方 ・ 資料2：景観形成の考え方 ・ 資料3：都市景観協議申出書 ・ 資料4：申出に対する協議事項及び協議の方針（案） 【議事3】 ・ 資料1：連節バスを活用した「高度化バスシステム」の広告付きバス停上屋の設置について ・ 資料2：みなとみらい21新港地区の全体から考えた本計画
特記事項	<p>次回日程は後日調整。</p>